

<平成29年度 アンケート結果の考察>

平成30年3月9日

<児童アンケート結果について>

①～③（生活面）について

①「学校が楽しい」の肯定的意見が2%減少して90%になり、②「学校には、仲の良い友達がいる」の肯定的意見は昨年度と同じで99%に、③「元気よく挨拶している」の肯定的意見が6%減少して80%になりました。

③「元気よく挨拶している」については、昨年度から「挨拶」を重点的に取り組んだ結果、平成28年度の肯定的な意見は、平成27年度の73%から大きく向上（13%）して86%になりました。そこで今年度は、90%以上になることを期待していましたが、残念ながら6%減少しました。しかし、私の感覚では、少しずつ良くなっているように感じています。挨拶は人間関係の基本です。お互いに「すすんで挨拶」ができるように、今後も指導を継続していきたいと思います。

そして、全ての児童が①「学校は楽しい」、②「学校には、仲の良い友達がいる」、③「元気よく挨拶している」と感じられる学校を目指して、一人一人の児童を大切にしたい教育活動を実践していきたいと思います。

④～⑤（学習面）について

④「友達や先生の話をよく聞いている」の肯定的意見が5%減少して92%になり、⑤「学校の勉強はよくわかる」の肯定的意見が2パーセント増加して90%になりました。子どもが学校の中で一番長く時間を過ごすのは、各教室での授業です。子どもにとって、その授業が、「学ぶことの楽しさ」や「わかる喜び」を体験でき、とても楽しく次の時間が待ち遠しくなるような「わかる授業・楽しい授業」を目指して、今後も教職員が一丸となって授業の工夫・改善に努めていきたいと思います。

⑥～⑧（学校生活）について

⑥「休み時間は外でよく遊んでいる」の肯定的意見が13%減少して72%になり、⑦「係活動や清掃活動などを頑張っている」の肯定的意見が2%減少して93%になり、⑧「校舎内では、走らずに静かに歩くようにしている」の肯定的意見が3%減少して77%になりました。⑥～⑧の項目についての肯定的意見は、平成28年度に大きく増加したので、今年も更に増加するものと期待していましたが、（平成27年度と比較すると増加していますが）少し残念な結果となりました。

⑥については、本校の児童は、「5分前に遊ぶのを止めて教室に戻る」という素晴らしい伝統を受け継いでくれているので、教室から運動場までの移動時間を考えると、運動場から遠い校舎の3階の教室の児童にとっては、どうしても遊べる時間が少なくなるので、運動場に出るのをためらう傾向があると思います。しかし、天気の良い日にはぜひ運動場に出て、元気に遊んで欲しいと思います。

また、⑧「校舎内では、走らずに静かに歩くようにしている」の否定的な意見が22%ありますが、校舎内を走ることは事故や怪我につながる危険性がありますので、今後も指導を継続していきたいと思います。

⑨～⑩（生活指導に関連する事柄）について

⑨「困ったときに相談できる人がいる」の肯定的意見が昨年度と同じで91%になりましたが、まだ否定的な意見が9%あることが気になります。更に家庭（保護者）との連携・協力を密にして、肯定的な意見が100%になるように努力したいと思います。

また、⑩「相手を傷つけないよう言葉づかいに気をつけている」の肯定的意見が2%増加して89%になりましたが、まだ否定的な意見が11%あります。学級指導で自分達の言動を振り返らせる等、心の教育及び子ども同士の人間関係の改善に努めていきたいと思っています。

<保護者アンケート結果について>

①～②（教育目標・特色ある教育活動）について

①「学校は、教育目標に掲げる『めざす子ども像』に向かって、取り組みを進めている」の肯定的意見が6%減少して88%になり、②「学校では、ファミリー活動を取り入れるなど、特色ある教育活動が行われている」の肯定的意見は昨年度と同じで98%になりました。『めざす子ども像』の育成については、学校教育目標である「自ら考え・支え合い・高め合うこども」の周知を図ると共に、日々の教育活動の中で学校教育目標を意識した取り組みを実践したいと思います。また、ファミリー活動等の特色ある教育活動については、今年度の取り組みを今後も継続・発展させて行きたいと思っています。

③～④（学習活動）について

③「子どもは、学校の学習がよく分かっている」については、肯定的意見が2%増加して92%になりました。児童アンケートの⑤「学校の勉強はよくわかる」の肯定的意見が2パーセント増加して90%になった事を含めて、とても嬉しく思います。今後も「わかる授業・楽しい授業」に向けて研修を進めると共に、宿題等の家庭学習について、更に保護者と連携・協力して学習習慣の確立を図って行きたいと思っています。また、④「子どもは、学校行事を通して成長している」の肯定的意見が1%減少して98%になりましたが、今後も児童一人一人に、その行事における自分（個人）の目標（仕事）とクラス（所属集団）の目標をしっかりと認識させて取り組ませたいと考えます。そして、児童が行事を通して達成感・成就感を味わうことによって、自己有用感と自尊感情の育成を図りたいと思っています。

⑤～⑥（施設・設備、緊急体制等の管理面）について

⑤「学校の施設や設備・環境は整備されている」の肯定的意見が11%増加して83%になりましたが、運動場の改修工事がこの結果に結びついたと考えます。しかし、まだまだ十分ではありませんので、学校の設置者（教育委員会等）とも連携して、可能な範囲で改善を図りたいと思っています。⑥「学校は、子どもの安全に配慮し、緊急体制を整えるなどの対策を講じている」の肯定的意見が5%減少して90%になりました。このことを謙虚に受け止めて、今後も気を緩めることなく危機管理体制の見直しを進めて行きたいと思っています。

⑦～⑧（学校生活）について

⑦「子どもは、学校が楽しいと言っている」の肯定的意見が3パーセント減少して92%になりました。児童アンケートの①「学校は楽しい」の肯定的意見が2パーセント減少して90%になった事と併せて、このことを謙虚に受け止めたいと考えます。子どもにとって、学校（学級）が安心して自分を発揮できる居場所であり、「今日が楽しくて明日が待ち遠しくなる」ような学校（学級）を目指して、日々の教育活動に取り組みたいと思います。

⑧「子どもは、集団生活のマナーやルールが身についている（本年度の重点目標は「あいさつ」）の肯定的意見が6%減少して83%になりました。しかし、本校は、今年度もとても落ち着いており、子ども達は、集団生活のマナーやルールを良く守って充実した学校生活を送っていると自負しています。今後も、取り組みを継続・発展させて行きたいと思います。

⑨～⑩（相談体制、家庭・地域との連携）について

⑨「子どものことについて、学校に相談できる」の肯定的意見が2%減少して88%になりましたが、今後も、更に学校と家庭との垣根を低くして、何でも気軽に相談できる体制を築いて行けるよう願っています。また、⑩「学校は、家庭・地域と連携して子どもの教育にあたっている」の肯定的意見が1%減少して91%になりました。子どもは、家族の愛情に包まれた日常生活の中で豊かな心を育み、地域での様々な体験や人々との交流を通して、社会性を身に付けていきます。

このように「子どもの健やかな成長」は、学校の教育活動だけでは完結出来ません。学校と家庭・地域がしっかりと連携し、それぞれの役割を十分に果たしていくことがとても大切だと考えます。そして、その連携・協力の一助として、学校便りを毎月発行し、ホームページをほぼ毎日更新して学校（子ども達）の様子を発信しています。現在、本校のホームページには、1日に約400～500件のアクセスがあり、この2年間でアクセス数が倍増していることをとても嬉しく思います。今後も継続して行く所存です。

<成果と課題について>

私は、「時間やルール・マナーが守れる本校の児童」を誇りに感じていますが、それは、今までの本校職員の努力の成果であると同時に、家庭や地域の教育力の賜物だと実感しています。よく、子どもは「親の言う通りにはならないが、親のする通りにはなる」と言われます。運動会や音楽会等の学校行事や地域の「ふるさとまつり」等の行事における保護者や地域の皆様方の様子を拝見して、北陵小学校区全体が、ルール・マナーの守れるとても素晴らしい街であり、この街の皆さんに支えられて今の北陵小学校があるのだと実感しています。

また、時間やルール・マナーが守れる事にプラスして、とても素晴らしいと感じているのが、子ども達の「素直さと優しさ」です。この子ども達の「素直さと優しさ」は、各家庭で、子ども達が家族からの愛情を十分に受けて大切に育てられ、一人一人の子ども達が「自分が大切にされている」という実感を持っているからこそ、「素直」になれて「他人にも優しく接する」ことができるのだと思います。そして、これは本当に素晴らしいことで、本校の宝だと実感しています。

学校と家庭は、教育を押し進める車の両輪ですが、その車を正しい方向に進めて行くためには、学校と家庭がしっかりと連携・協力することがとても大切です。今回の児童・保護者アンケートの結果を基にして、教職員が一丸となって学校における「教育活動の質」の更なる向上を図り、子ども・保護者・地域から、誇りに思われる北陵小学校を築いていきたいと願っています。

<学校関係者評価>

学校関係者評価として、PTA4役さんと学校評議員の皆様からご意見を頂きました。

1) 教育目標・特色ある教育活動についての評価 <良好>

- ☐ 体験的活動（森ワーク・盲導犬・豆腐作り等）や1年生から6年生までの縦割りのファミリー活動等の特色あるカリキュラムがとても良い。子どもも喜んでいる。
- ☐ 森ワーク等の体験活動に保護者も参加できるのがとても良い。

2) 学習活動についての評価 <良好>

- ☐ 行事で自立心が育っている。

3) 施設・設備、緊急体制等の管理面についての評価 <課題がある>

- ☐ トイレが汚い（掃除ができていない）。
- ☐ 家庭でも掃除の指導が必要。
- ☐ 教室にも加湿器が必要。

4) 学校生活についての評価 <概ね良好>

- ☐ 子どもが下校時に歩道を走っている姿が気になる。車道にはみ出している子もいる。
- ☐ 地域での挨拶が少ない。

5) 相談体制、家庭・地域との連携についての評価 <良好>

- ☐ ホームページは、保護者にとって情報源になっている。
- ☐ 毎月発行される学校便りを楽しみにしている。

6) その他

- ☐ 全体的に子どもに余裕が無くなっているように感じる。
- ☐ 子どもに対する許容範囲が狭くなっている。
- ☐ 教師も保護者も、子どもに遠慮して厳しい指導ができないのではないか。
- ☐ 感情的に「怒る」と、子どもの為を思って「叱る」のは、根本的に違う。
- ☐ 深山池公園の民族資料館を活用して、高齢者と子どもが昔の遊び等を通じて触れ合う機会を設定したい。
- ☐ 小学生と北陵深山会との交流ができればいいと思う。